

質問 瑞穂町には、平成17年4月に開所した箱根ヶ崎駅前交番と7か所の駐在所が設置され、町の治安維持に大きく貢献していると考えます。

しかし、駐在所については、一部偏って所在しているとの声も多

く聞かれるが、町長の所見を伺う。また、第4次長期総合計画後期基本計画では、「安全安心やさしいみずほ」の基本目標のもと、安全・安心の施策を進めている。現在の瑞穂町の治安の状況と今後の課題について併せて町長の所見を伺う。

町長 平成17年に駐在所の増設を要望したが、町は人口比で他市町村と比較して適正に配置され増設できないと警



村山 正利 議員 (自民新国会)

バランスのとれた駐在所の再編を望む



町長 すぐに駐在所配置を変更する段階ではない



平成17年4月に箱根ヶ崎駅東口に開所した駅前交番。町の玄関口である駅を見守るとともに、住民の日常生活の安全を守っている。



原 隆夫 議員 (公明党)

認知症高齢者の徘徊対策のため、QRコード付きミネル・シールの配布等を



町長 QRコードも含め、さらに研究していく

質問 認知症高齢者の徘徊による行方不明や事故が多数発生し、大きな問題となっている。我が町でもGPSを使った「徘徊高齢者探索サービス事業」を実施しているが、利用が少なく課題がある。



入間市の徘徊身元確認支援サービスの一つ「爪Qシール」。入間市の名称、電話番号、利用者の身元特定番号が記載されたQRコードが入った1cm四方のシールを爪にはり、スマートフォンのアプリなどで読み取ることで、保護された方の連絡先である施設などに本人確認の問い合わせができる仕組み。

町長 QRコードによる見守り・安否確認サービスは徘徊高齢者や家族支援に有効な事業



榎本 義輝 議員 (自民クラブ)

体育施設の充実を



教育長 次期長期総合計画で位置づけたい

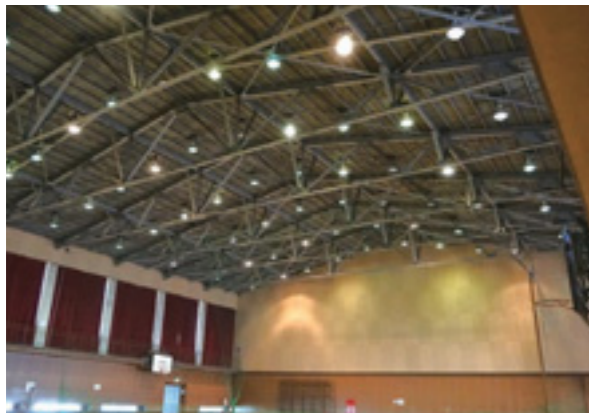
質問 総合体育館は建設中止となり、地域体育館構想に移行している。6月定例会で町長の答弁がありました。その具体的な地域並びにタイムスケジュール等を確認する。また、広域行政での総合体育館の建設の考えを問う。

が変わってきた中で、広域行政圏協議会の自治体からも体育館建設の声は聞こえてこない。スポーツ施設はその多くが老朽化に伴う修繕をしながら運用しており、照明も輸入中止となった水銀灯からLED照明に変更が必要と考

こんな質問もありました
入間市のドローンに関する協定締結を受けて
町長 協定締結にかかわらず、地元以外の企業や関係団体の能力活用を含め研究していく。

さらに、既存スポーツ施設の問題点をどの程度把握されているのか、災害時におけるスポーツ施設は避難所として使用される可能性が高いと思うが、受け入れ準備は整っているのか、確認する。

また、時代情勢



中央体育館の照明。現在は水銀灯が使用されている。



下野 義子 議員 (公明党)

マイキープラットフォーム構想への参画を問う



町長 運用協議会に加入し情報収集に努めたい



マイナンバーカードは、本人の申請により交付され、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な身分証明書として利用でき、また、様々な行政サービスを受けることができるようになるICカード。

マイキープラットフォーム構想とは
マイナンバーカードのICチップの空きスペースを利用して、行政の効率化や医療、買い物といった民間サービスにも幅広く活用できるようにする構想。

質問 国はマイナンバーカードを活用した「マイキープラットフォーム構想」を推進するため「マイキープラットフォームフォーム」と「自治体ポイント管理クラウド」等の情報基盤を構築し、29年9月より実証事業もスタートさせている。マイナンバーカード一枚で自治体・地域経済応援・滞蔵ポイントを公共サービスや地域、オンラインなどで使うことができる。利用者の利便性向上のほか、地域活性化にも繋げられる。町も参画すべきと考える。

町長 マイキープラットフォームフォーム構想は、地域経済支援の一環としての利活用を視点としている点で、身近な利